

2015

# 小さな自然観察クラブ

## 第1回目 春を探しに行こう・亜麻栽培

5月9日（土曜日）に2015年度第1回目の観察クラブを開催しました。今年度は応募人数が29名となり、初めて参加の子、引き続き参加の子が半分・半分となりました。クラブ員のみなさん、自然の中でたくさん学び、楽しみましょ



開会式の様子

うね！はじめに博物館で開講式。初めて顔を合わせる仲間に緊張している様子でしたが、みなさん元気よく自己紹介してくれました。“一番楽しみにしている回”では川釣り体験が一番人



亜麻の学習（↑）&種まき（↓）



気！他にはキャンドル作り、エッセンシャルオイル作り、エビ取りと黒曜石探しが人気でした。

開講式終了後は亜麻の種まき。亜麻は布を編む糸や油がとれ、北海道のように比較的寒い場所での栽培に適しています。道内では大正時代に亜麻の栽培が始まり、多くの亜麻工場があり盛んでしたが、石油製品の進出で昭和40年代には北海道の亜麻工場は次々と閉鎖したなど、歴史も学習しました。今後の観察クラブで亜麻の成長を観察していきましょう。



その後、<sup>となぎがおか</sup>砺波ヶ丘までバスで移動。早

朝に雨が降っており、お天気が心配でしたが、出発の時には上がっていました。砺波ヶ丘にある<sup>えんれい</sup>延齢の森は、紫色の花「カタ



キハタ発見！苦いけど体に良いんだよ

クリ」がきれいに咲く場所として有名です。見ごろは過ぎていましたが、ところどころ

で咲いていました。あとは、名寄市の花「オオバナノエン

レイソウ」が咲いていました。砺波ヶ丘でたくさんの春を見つけることができたことでしょう。散策途中には、あずまやで休憩をとり記念写真を撮りました。

今回は砺波ヶ丘に行きましたが、名寄にはまだまだたくさんの自然があります。今後の観察クラブでたくさん自然に触れていきましょう。



2015

# 小さな自然観察クラブ

## 第2回目 親子九度山ハイキング

6月20日に第2回観察クラブ「親子九度山ハイキング」を開催しました。当初は見晴山に行く予定でしたが、安全面を考慮して九度山に変更となりました。今回は親子行事のため、たくさんの保護者・弟妹が参加し、総勢50名を超えるとてもにぎやかな登山になりました。早朝は曇り空で、雨が降りそうな天気でしたが出発時には太陽が顔をだし、すっかり登山日和となりました。



今回登った山は、昨年と同じ名寄市を代表する「九度山」。ピヤシリスキー場としてなじみ深いこの山は、昔名寄に住んでいたアイヌの人々にとっても狩猟の時の目印とした大切な山であり、国の名勝「ピリカノカ（アイヌ語で「美しい形」）」にも指定されています。さあ、九度山登山のスタートです。

最初はグレンデ部分を歩き、途中からリフトの下をくぐって木に囲まれた道を歩きます。自分の足で1歩ずつ登山道を歩いていく子どもたち。しかし、九度山はなかなかの急こう配。太陽の日差しも強くなり、子どもたちの体力を消耗（しょうもう）させ、早くも「疲れたー」の声が。しかし後ろを振り向くと下にはジャンプ台が！いつもは見上げる景色を見下ろし、周りの美しい自然に元気をもらいながら登りました。そして目の前にリフトの柱が・・・そこは第3リフトの乗り場！五合目に到着です。実はここが名寄の街が一番よく見える場所といわれています。その絶景を背景に記念写真を撮りました。



五合目出発！ここで下るか登るかの選択です。ほとんどの人が山頂を目指しました。五合目に残った子たちは山頂を目指す人を見守り、自然観察をしながら下山しました。

山頂を目指す子たちは急斜面の岩場を歩き、頂上の第3リフト降り場に到着。山が連なる景色、名寄市内の景色を楽しみ、全員けがなく下山しました。

みんな疲れはしたけれど、親子や友達同士で話をしながら楽しく登り、素晴らしい自然や景色も見ることができ、達成感たっぷりの九度山ハイキングでした。

2015

# 小さな自然観察クラブ

## 第3回目 川釣り体験

7月11日（土曜日）に第3回観察クラブ「川釣り体験」を開催しました。当日は晴天で日差しも強く、釣りをするには少し暑かったですが楽しくピヤシリ川での魚釣りを体験しました。

初回の観察クラブで楽しみにしている回を聞きましたが、今回の川釣り体験が1番の人気でした。長い時間で釣りを楽しむためにいつもより30分早く集合し、ピヤシリ川へ向かいました。



到着して釣りをする準備。仕掛けの糸を釣り竿

（ざお）に結ぶのは難しかったと思います。指導員の方に教わりながら取り付け完了。



その後班ごとに分かれて釣りをする場所へ移動。それぞれの場所に到着し、エサとなるイクラを仕掛けにつけて釣りのスタート。



始まって少し時間がたっただけでかごには魚が！ピヤシリ川の代表的な魚「ヤマベ」です。ヤマベという呼び名は北海道・東北地方の呼び名で他の地域では「ヤマメ（山女）」と呼ばれているようです。



ヤマベの他にもカジカも釣れた子もいました。なかなか釣れない時間もありましたが、みなさん夢中になって釣りを楽しみましたね。

今回は魚の釣り方を覚えたと思いますが、釣りをするために川に入った時は水の流れがありすべりやすく、危ないなあと感じたこともあったと思います。夏休み中、事故に

あわないよう楽しい夏休みを過ごしてくださいね。



2015

# 小さな自然観察クラブ

## 第4回目 松山湿原・仁宇布の滝めぐり

9月19日（土曜日）に第4回観察クラブ「松山湿原・仁宇布の滝めぐり」を開催しました。当初の予定では風連の望湖台自然公園に行き、エビ取りと黒曜石探しを行う予定でしたがクマの出没情報があることから行き先を変更しました。当日はあいにくの空模様で、お天気が心配でしたが何とかもってくれました。



午前中は松山湿原！周りの植物を見ながら約900メートルの登山道を歩き、途中の展望台で休憩。休憩後さらに歩くと木道が現れ台地となり松山湿



原到着！湿原の景色を見ながらおやつを食べて記念撮影をしました。そして湿原の中を歩いて行くと紫色の花がたくさんありました。「ホロムイリンドウ」です。見ごろは過ぎてしまいましたが、9月の松山湿原にはホロムイリンドウが咲き誇ります。花を見た次は



つつじ沼

沼を見ました。湿原には3つの沼があり、そのうちのえぞ松沼とつつじ沼を見ました。水面にうつる木々がきれいでしたね。湿原を見て回り下山後は天竜沼駐車場でお弁当！みんなでおしゃべりをしながらお弁当を食べましたね。



ホロムイリンドウ

午後は仁宇布の滝と冷水！まずは滝へ行きました。仁宇布地域には16種類の滝があり、まとめて「仁宇布の十六滝」と呼ばれています。今回はそのうちの「雨霧



（うぎり）の滝と「女神（めがみ）の滝」を見ました。どの滝も勢いよく水が流れていましたね。滝を後にして冷水をくみに行きました。冷水はミネラルが豊富で味がまろやかと言われています。皆さんは持ち帰った冷水をどのように使ったのでしょうか。



今回は天気が良くない中でしたが、松山湿原と仁宇布の滝に行って美深の自然を満喫できたかと思います。

2015

# 小さな自然観察クラブ

## 第5回目 親子野外料理・亜麻の収穫

10月10日(土曜日)に第5回目の観察クラブ「親子野外料理・亜麻の収穫」を開催しました。今回は2度目の親子行事!クラブ員の子供たちだけでなくお父さん、お母さんとも楽しく活動しましたね!



今回は鉄なべでカレーを作り、羽釜でご飯を炊きました。料理の前に火おこし。シラカバの樹皮「がんぴ」を着火剤にして薪(たきぎ)に火をつけると勢いよく燃えていきました。火をつけたら食材準備!ピーラーや包丁をしっかり持って野菜や肉を切っていきます。保護者や指導員から切り方を教わりながら頑張っ



切っていきます。お米洗いはくじ引きで選ばれた4人!冷たい水でお米を洗うのは大変だったと思いますが頑張りましたね。食材の準備が終わり食材をお鍋に入れ、ご飯を炊いていきます。その時間を使って亜麻の収穫。5月から育ててきた亜麻の茎(くき)には立派な実がなっていました。まずは日記を書きます。日記を書いてきたことで亜麻がどのように育っていくのかがわかったと思います。そして実の中を観察しました。実の中には5つの部屋があり最大で種が2個ずつ合計10個入っていました。最後に茎を引き抜いて



収穫終了。収穫した亜麻を持ち帰った子は来年、家で種をまき亜麻を育ててみてください。

亜麻の収穫が終わり、カレー作りの再開。カレールーを入れさらに煮込んで、できあがり!羽釜で炊いたご飯もおこげがありましたが、とてもおいしそうに炊けました。さあ器(うつわ)にのせて「いただきます〜

す!」みんなで協力して作ったカレーはおいしかったですね。

たき火で作った料理は寒さを吹き飛ばし、みなさんの体を温めてくれたと思います。

2015

# 小さな自然観察クラブ

## 第6回目 エッセンシャルオイル・ナチュラルクラフト作り

11月14日（土曜日）に第6回目の観察クラブ「エッセンシャルオイル・ナチュラルクラフト作り」を開催しました。



実はエッセンシャルオイル作りを観察クラブで行うのは初めて。トドマツの葉っぱを使い、オイルを作りました。

はじめに葉っぱを入れる作業。枝についている葉っぱを細かく切って蒸留釜（じょうりゅうがま）に隙間（すきま）なく入れていきます。



葉っぱを入れ終わったら、蒸留釜を長い時間温めてオイルが出てくるのを待ちます。

オイルの完成を待っている間はクラフト作り！松ぼっくり、ドングリ、松の木を使ってオリジナルの作品を作っていきます。机の上にはビーズやリボンで飾り付けられた「松ぼっくりツリー」や「松の木リース」がたくさん！皆さん、とても上手に作っていました。



クラフト作りを始めてから30分くらいたったところで「オイルが落ちてきました」というお知らせが！クラフト作りを一時中断しオイルのできあがり具合を見に行きます。



蒸留釜を温めることでトドマツの成分が入った水蒸気が発生し、その水蒸気が冷やされてオイルができあがります。色は透明で、においは少し刺激が強かったですね。こうしたオイルが化粧品などを作る時に使われています。

エッセンシャルオイルを作ることは、めったにないことだったと思いますが、別な機会で作ることがあれば今回学んだことを実践してください。



2015

# 小さな自然観察クラブ

## 第7回目 キャンドル作り

12月12日（土曜日）に今年度最後の観察クラブ「キャンドル作り」を開催しました。キャンドル作りは毎年行うほど、観察クラブでは定番の企画。クリスマスに備えオリジナルのキャンドルを作りました。



まずはろうそく溶かし。カッターでろうそくをけずりアルミ製のカップに入れ、ゆせんで溶かしていきます。するときれいな透明のロウになりました。次は色付け。クレヨンをけずり色を付けます。好きな色を付けていく子どもたち！どのようなキャンドルができあがるのでしょうか。

まずはろうそく溶かし。カッターでろうそくをけずりアルミ製のカップに入れ、ゆせんで溶かしていきます。するときれいな透明のロウになりました。次は色付け。クレヨンをけずり色を付けます。好きな色を付けていく子どもたち！

ち！どのようなキャンドルができあがるのでしょうか。

最後は容器に入れて固める作業。プラスチック製や紙製の容器に



ロウを入れて雪で冷やします。火をとますための芯（しん）もロウを入れた後に立てましたね。ロウが固まって容器から取り出したら完成！皆さんうまくできましたか？最初はろうそくをけずったり、熱々なロウを入れたりする作業は大変だった

たかもしれませんが、時間がたつにつれ①ろうそくを溶かす、②色を付ける、③容器に入れ冷やす、の作業がスムーズに行えているように感じました。

キャンドルができあがったらみんなで記念撮影。クリスマスには



今回作ったキャンドルに火をともしてくださいね！最後はスライド写真を見て5月から始まった活動を振り返りました。

皆さん今年1年の観察クラブはどうでしたか？行き先を変えた回もありましたが、違う学校の子と友達になって色々な場所に行き、たくさんの自然を見て学習しましたね。来年もぜひ参加してくださいね。1年間ありがとうございました。